

# METRO スーパーAJAスタブルシェルフ 組立説明書

この度は、スーパーAJAスタブルシェルフをお買い上げいただきましてありがとうございました。  
本製品を安全にお使いいただくために、この説明書をよくお読みいただき、内容をご理解のうえ注意事項を遵守していただくようお願いいたします。

## ご使用前に必ずお読みください

### ■組み立て前に部品の不足・欠損がないか、必ずご確認ください。

※商品には万全を期しておりますが、萬一部品が不足・欠損していた場合は、組み立てを行わずお買い求めの販売店または弊社カスタマーサービスへご連絡ください。

### ■組み立ては、この説明書をよくお読みになり必ず手順に従って正しく組み立ててください。 誤った組み立ては破損やケガの原因となります。

### ■組み立て作業は2名以上で行ってください。

### ■この説明書は必要なときにすぐ取り出せるように保管してください。

### ■本製品の許容耐荷重は250kg(等分布)です。許容値を超えて物を載せないでください。

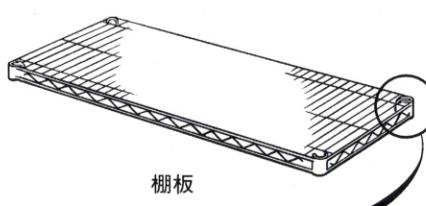
### ■スーパーEレクターシェルフ棚板との互換性はありません。ただし、ディバイダー、レッジ、トートボックスなど一部のアクセサリーはスーパーEレクターシェルフ用をご使用いただけます。

### ■他社製品を併用した組み付けはおやめください。

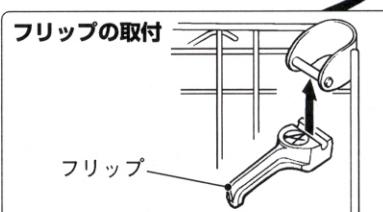
## 組立例



## 構成部品



ウェッジ スリーブ



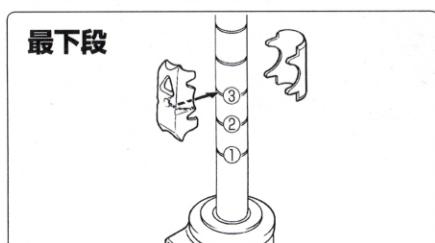
警 告

- 棚板を踏み台にするなど、ぶら下がったり上に登るような行為は絶対に行わないでください。  
転倒や、積載物の落下により重大な事故となる恐れがあります。
- フリップ部には棚板の移動・取り外し時以外は触らないでください。
- 商品の改造は機能低下・事故・破損の原因となりますので、絶対におやめください。



注 意

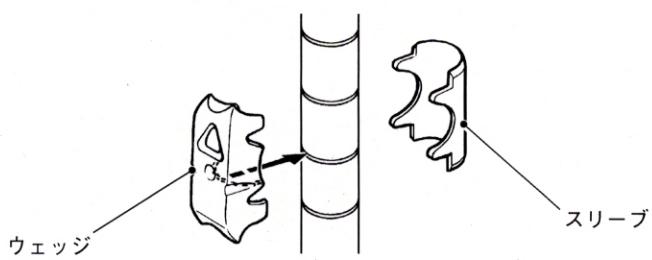
- 固定部品がずれたり、棚板が水平になっていないなど、組み立てが不完全な場合はそのまま使用せずにもう一度組み立てし直してください。
- 傾斜した所や、段差があるなど不安定な場所には設置しないでください。
- 棚板のメッシュより小さいものは、落下して破損する原因となりますので、載せないようにしてください。
- 棚板の高さを変更する際には、積載物をすべて降ろしてから行ってください。
- 組み立ては平坦で十分なスペースのある場所で行ってください。床や壁面の保護のために、当て布などを敷いて作業してください。
- 単独キャスターを組み付ける場合には、必ず最下段の棚板をポールの3本目の溝に組み付けてください。  
この指定部に棚板が組み付けられていないと、ポールが変形または破損する恐れがあります。
- 重量物の運搬や、移動が頻繁な場合は専用ドーリーをご使用ください。



- 本製品は磁気を帯びる場合があります。  
テレビ、パソコンモニタ等の電化製品の中には磁気の影響を受ける場合もあります。  
万一異常を生じた場合は、対象の機器のメーカーや販売店などにお問い合わせください。
- 別売のポールはステンレス製(SUS430またはSUS304)ですが、使用環境によっては錆が発生する場合があります。  
錆の発生を防ぐために下記内容をご注意ください。
  - ・まめに清掃を行い、表面の付着物を除去してください。
  - ・殺菌剤や溶剤の使用後は、必ず水洗いをしてください。
  - ・酸・アルカリ性の強い、悪影響下での使用は避けてください。

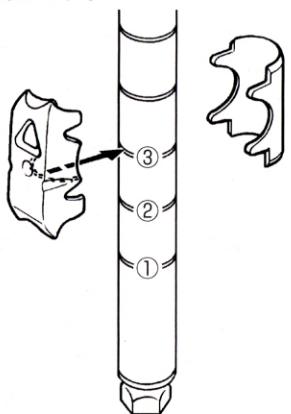
# I 組立て

1 棚板を固定する高さに合わせて、ウェッジ&スリーブをポールの溝に取り付けます。



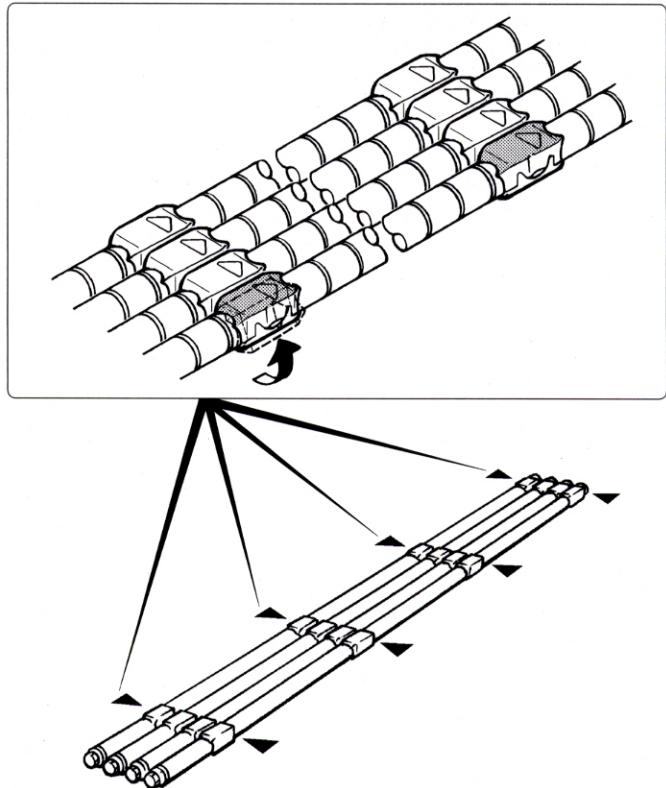
## 最低取付位置

ご注意 棚板の最低取付可能位置は、下から3本目の溝の位置です。



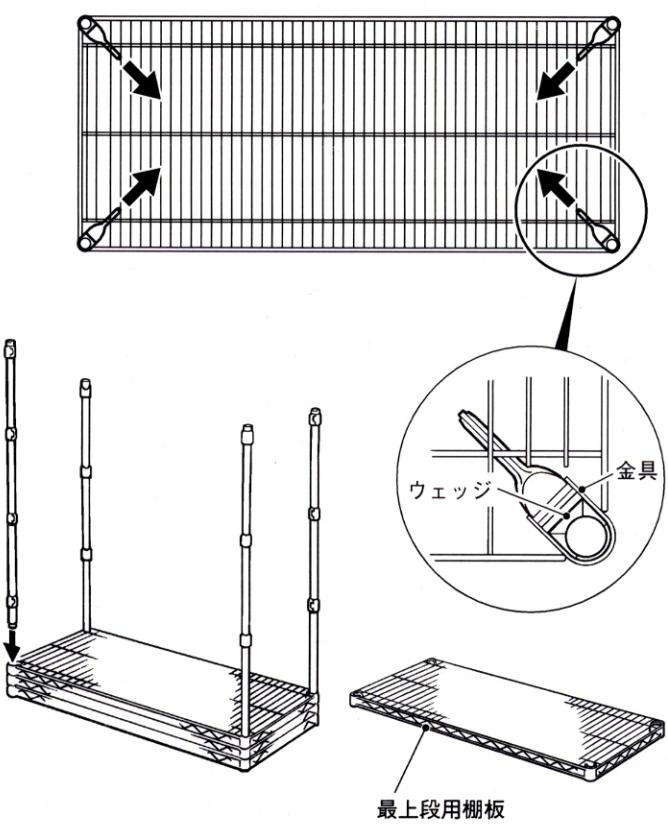
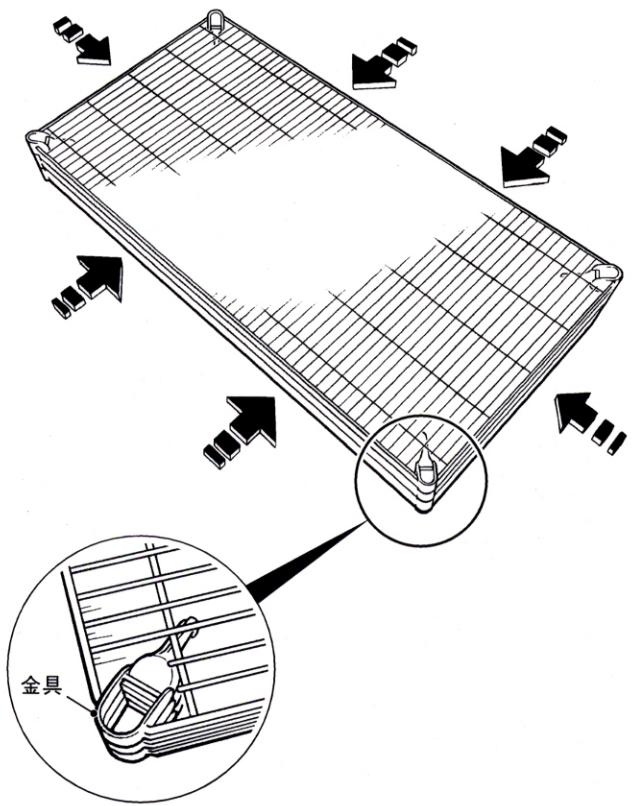
3 組み付ける棚板のうち1枚を最上段用として取り除き、残りの棚板を重ねてそろえます。  
四隅の金具の位置を合せてください。

2 ポールに取り付けたウェッジ&スリーブを回し、ウェッジの面をそろえます。  
ポールを寝かせて4本合せて作業を行うと調整が容易です。  
ウェッジ&スリーブがポールの溝から外れないように注意してください。



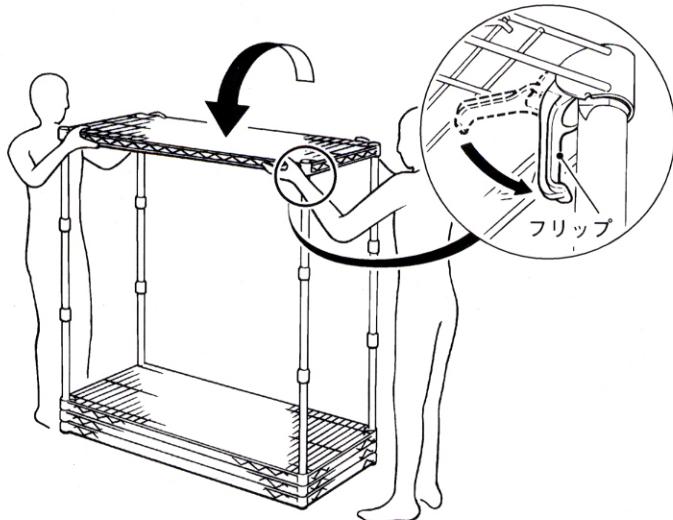
4 四隅にポールを差し入れます。  
このときウェッジの面を棚板の金具形状に合わせた向きでポールを差し入れてください。

ご注意 フリップが水平位置の状態でないとポールは入りません。



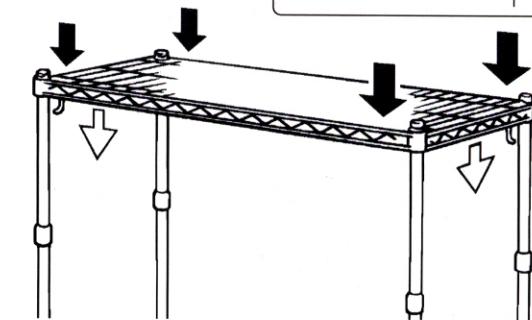
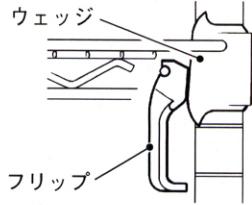
**5**最上段用の棚板をフリップを下げた状態でポールの上部から挿し入れ、静かにウェッジ&スリーブの位置までおろします。

ご注意 ウェッジ&スリーブの位置にズレのないことを確認してください。

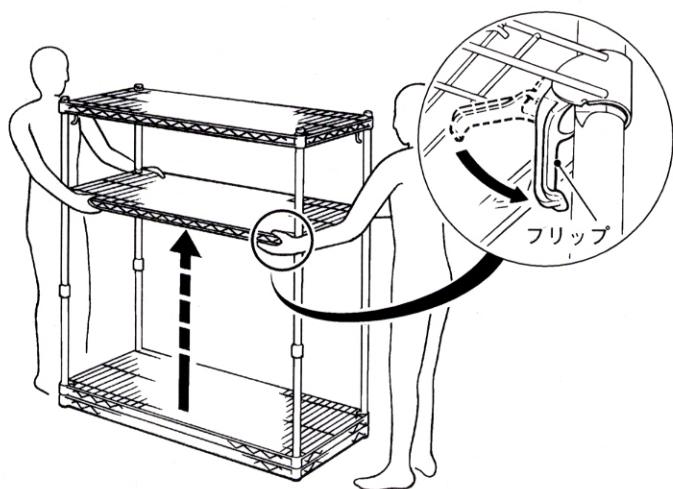


**6**棚板が下がらないことを確認して、棚板の上から四隅を下に押しつけ固定します。

ご注意 フリップが垂直になり、ウェッジに密着していることを確認してください。

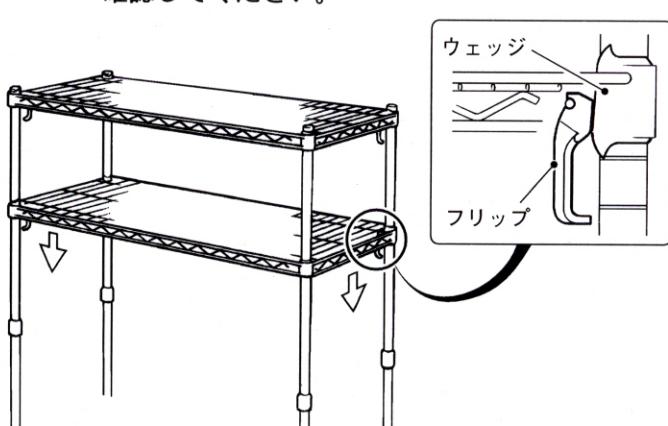


**7**積み重ねた棚板を1枚引き上げ、ウェッジ&スリーブの上端まで通過させた位置で四隅のフリップを下げます。



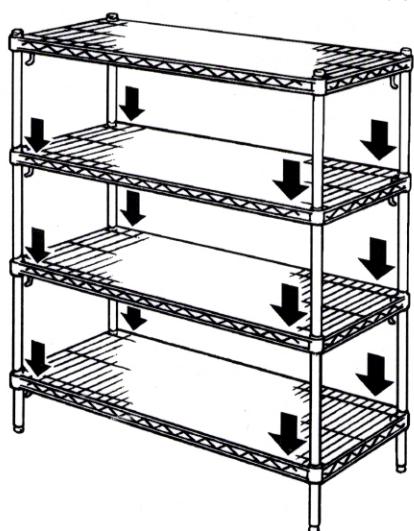
**8**フリップを引き下げた状態で棚板をウェッジ&スリーブの位置へ静かにおろします。

ご注意 ウェッジ&スリーブの位置にズレのないことを確認してください。

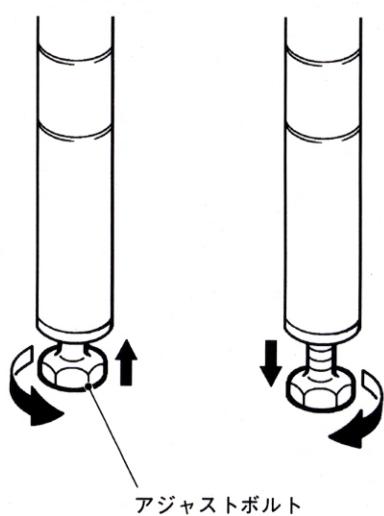


**9**同様に他の棚も組み付けた後、最上段の棚板の固定と同様に、全段四隅を上から押し付けて固定します。

ご注意 全段の組み付が確実であることを確認します。

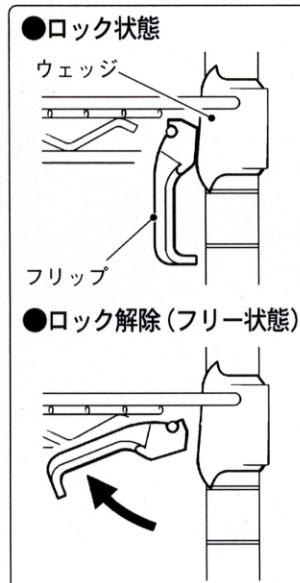
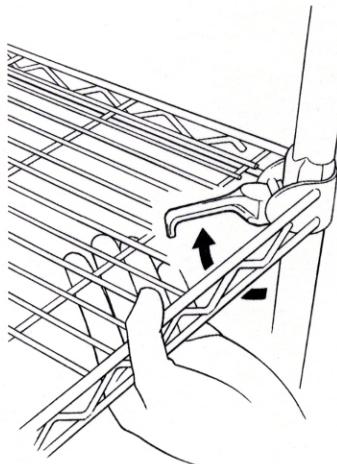


**10**ポール底部のアジャストボルトを左右に回し、高さを調整して棚板を水平にします。  
これで組み立ては終了です。



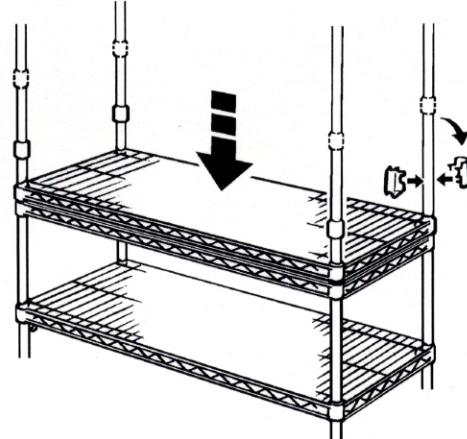
## II 棚板の位置変え

1 棚板を手で支えながらフリップを水平位置まで引き上げ、ロックを解除します。



2 四隅のロックを解除した後、棚板を下までおろします。ウェッジ&スリーブを4組とも位置を変えて付け直し、組み立てと同じ手順で棚板を組み付けます。

ご注意 棚板で指をはさまないよう注意してください。

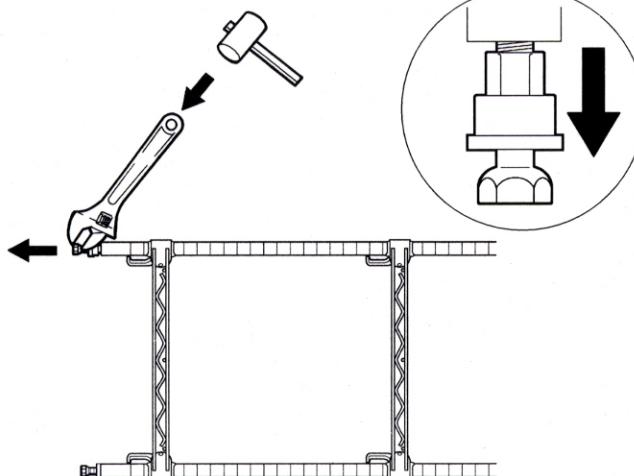


解体するときは、最上段から1段ずつ上に外してください。

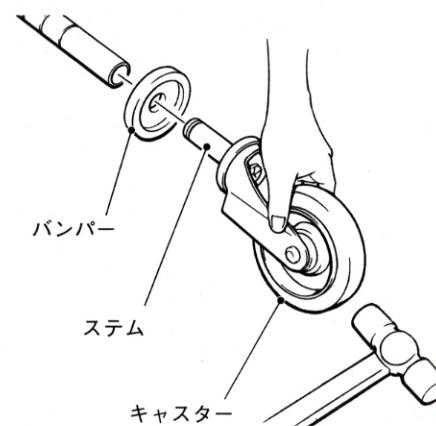
## III 単独キャスターの取付

重量物の運搬や、移動が頻繁な場合は専用ドーリーをご使用ください。

1 組み立てた棚を床上に寝かせ、ポール下端のダイキャストをモンキーレンチ等をボルト部分に当て、ハンマーで叩いて抜き取ってください。

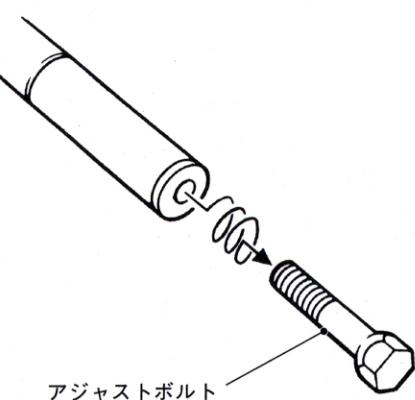


2 バンパーをポールに差し入れキャスターのステム部を挿し入れます。キャスター裏面の金具部分に木片等を当ててハンマーで叩き込みます。ステムの付根まで打ち込んでください。



## IV ドーリーの取付

1 ポール下端のアジャストボルトを抜き取ります。



2 ドーリーに付属のアジャストボルトを使い、ポールとドーリーの孔位置を合わせ、下からアジャストボルトをねじ込んで固定します。

